

# 衆議院災害対策特別委員会ニュース

平成 26. 8. 28 第 186 回国会第 8 号（閉会中審査）

8 月 28 日（木）、第 8 回の委員会が開かれました。

1 平成 26 年梅雨期からの大雨等による被害でお亡くなりになられた方々に対し、黙禱をささげました。

## 2 災害対策に関する件（平成 26 年 8 月豪雨による被害状況等）

- ・古屋国務大臣（防災担当）から説明を聴取しました。
- ・古屋国務大臣（防災担当）、加藤内閣官房副長官、西村内閣府副大臣、高木国土交通副大臣、亀岡内閣府大臣政務官、田中経済産業大臣政務官、土井国土交通大臣政務官、牧原環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 河井克行君（自民）

- ・広島県には多くの土砂災害危険箇所があるにも関わらず、土砂災害防止法に基づく基礎調査や警戒区域及び特別警戒区域の指定は進んでおらず、全国的に見ても遅れをとっている。都道府県によって危機感・責任感に差があり、指定状況が異なる実情にあるが、大臣は同法の現状をどのように認識しているか。
- ・土砂災害防止法を改正して、警戒区域及び特別警戒区域の指定を進めるため国の関与を強めるとともに、家屋移転勧告をより行いやすくなる「重要特別警戒区域」を新たに設けるべきと考えるが、古屋大臣の見解を伺いたい。

### 斉藤鉄夫君（公明）

- ・土砂災害発生時、消防や自衛隊による捜索活動の際に安全性をチェックするなど、国土交通省の TEC-FORCE の果たす役割は大きい。今後も同組織の充実強化を図るべきと考えるが、政府としての取組を伺いたい。
- ・土砂災害危険箇所は判明しており、基礎調査を行えばそのほとんどが警戒区域に指定されるが、住民に積極的な周知はされていない。都道府県が危険箇所を住民に周知し、避難のためのソフト対策を行えるよう、土砂災害防止法を改正すべきではないか。

### 長島昭久君（民主）

- ・広島県の土砂災害発生前後の官邸の危機管理体制はどうなっていたのか。総理への報告の状況や、内閣危機管理監の動きについて、内閣官房に伺いたい。また、最初の総理指示が出されてから公表されるまで 2 時間を要したが、直ちに国民に知らせることも危機管理ではないか。
- ・本年 4 月に見直された「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン（案）」の周知徹底のために行っている、具

体的な方策について、内閣府に伺いたい。

### 井坂信彦君（維結）

- ・土砂災害警戒区域の指定において、特に指定が遅れている都道府県に危険箇所の調査や警戒区域の指定についての努力目標を課すことに対する国土交通省の見解を伺いたい。また、特別警戒区域における移転勧告を行った例はないとのことだが、機能する制度とするために更なる補助制度を創設する必要性について、国土交通省の見解を伺いたい。

### 三木圭恵君（維結）

- ・平成 26 年 8 月豪雨では、兵庫県丹波市でも甚大な被害が出ているが、激甚災害の指定についてはどのような状況か。また、被災地において、集団移転の希望が出た場合は、東日本大震災と同様に、防災集団移転促進事業の補助限度額の引き上げや戸数要件の緩和などの特例措置を適用すべきと考えるが、国土交通省の見解を伺いたい。

### 中丸啓君（次世代）

- ・現場空域では、救助に重要な時間である被災後 72 時間内においても報道関係ヘリが数多く飛んでおり、救助の妨げとなった。また、マスコミ関係者によりコンビニ等の食料が買占められているとの報もある。被災者に対する配慮がなされていないようだが、政府によるマスコミへの指導・伝達が必要ではないか。
- ・現地では自衛隊、消防、警察が同一場所にそれぞれ現地司令本部を設置し、調整を行っていた。非常事態下における自衛隊、消防、警察の指揮命令系統の一本化等緊急事態法制を整えるために憲法改正を行うべきと考えるが、古屋大臣の所見を伺いたい。

## 杉本 かずみ君 (みんな)

- ・本年4月に見直された「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)」について、台風シーズンを迎える前に各市町村に再度周知し、緊急にマニュアルを見直すよう促す必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- ・広島県における土砂災害では災害の種類に見合った避難場所への避難ではなかったために、避難先で被災した事例がある。避難場所の名称の明確化や意識の共有化に向けた施策の検討をするべきではないか。

## 宮本 岳志君 (共産)

- ・広島県における土砂災害において、被災者に一時的な住居を提供する際には、公的住宅、ホテル等を用いた避難所、民間賃貸住宅を用いたみなし仮設住宅などを柔軟に組み合わせ、施策の優先順位よりも被災者の意向に合わせて提供していくべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・8月15日からの大雨による福知山市の浸水被害について、激甚災害に指定することの必要性、由良川の河川改修の状況、

国道175号の復旧の必要性等に対する見解を伺いたい。

## 小宮山 泰子君 (生活)

- ・殺処分前だった犬が災害救助犬として活躍していると報道されているが、災害救助犬に係る現状及び広島県における土砂災害現場における災害救助犬の活動状況について伺いたい。また、合わせてペットの殺処分の現状について伺いたい。
- ・北海道礼文町では人手が足りず、避難勧告を見送っていた。速やかかつ十分な災害対応が困難な自治体が大規模災害に見舞われた際にはどのように対処していくことになるのか。